

宮崎大学総合情報処理センターの紹介

宮崎大学総合情報処理センター長 高岸邦夫

宮崎大学総合情報処理センターは、平成 15 年 10 月 1 日、宮崎大学と宮崎医科大学の統合に伴い、両大学の情報処理センターを統合した省令施設として発足しました。

共同利用計算機システムの運用管理と利用者への支援、および、宮崎大学情報ネットワークの運用管理と利用者への支援、さらに、大学運営における学内の様々な業務の情報化を支援してきました。加えて、宮崎地域インターネット協議会(MAIS)のネットワークオペレーションセンター(NOC)、宮崎情報ハイウェイ 21(MJH21)と日本ギガビットネットワーク(JGN)のアクセスポイント(AP)をセンター内に設置し運用するなど、宮崎地域の情報基盤の中核拠点として、また、地域のインターネット技術普及の中心的役割を担ってきました。

宮崎大学総合情報処理センターは、多様化するネットワーク情報への対応や、ネットワークセキュリティの確保、利便性の高いネットワーク基盤の構築、および、地域ネットワークの構築と運用支援を通して、広く利用者に親しまれるシステム作りを目指しています。